



第61回全日本剣道選手権大会

平成二十五年十一月三日(日)

於 日本武道館

全日本剣道選手権大会

前田浩由選手 本県勢25年ぶりのベスト16入り



第 81 号

発行人

(一財) 福井県剣道連盟  
会長 岩崎 貞夫

事務局

〒910-0015 福井市二の宮2-3-7  
榊マルツ電波二の宮店 付属舎  
TEL・FAX (0776)28-6616  
メール fkiendo@herb.ocn.ne.jp

十一月三日(日)に東京の日本武道館で開催された全日本剣道連盟主催「第六十一回全日本剣道選手権大会」において、福井県代表の前田浩由選手(五段)が、初出場 福井県警機動隊)が、福井県勢としては二十五年ぶりにベスト十六まで勝ち上がりました。

前田浩由選手の戦績

一回戦

対 京都府 松井祐一選手  
(五段) 初出場 京都府警機動隊)  
面で一本勝ち

二回戦

対 山口県 小江隆之介選手  
(五段) 二回目 山口県警機動隊)  
延長戦 面で一本勝ち

三回戦

対 東京都 正代正博選手  
(五段) 初出場 警視庁第二機動隊)  
延長戦 小手で一本負け



「第六十一回全日本剣道選手権大会に出場して」

前田 浩 由

今回出場が決まり、全ての相手が自分より実力が上だと思っていたため、とりあえず全力でやるだけの事をやるという事を意識していました。  
今回ベスト十六まで入れたのは、本当に運が良くして勝つ事ができたからだと思います。  
今後は、今回の試合の結果をたまたまと言われないように練習をして、来年も出場し、今回よりいい成績が残せるようにしたいです。

大会報告行事報告

第5回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会に出場して

平成二十五年七月十五日(月) 於 日本武道館

私は今年の夏に東京で行われた、全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会に福井県の代表として出場しました。大先輩の方々とチームを組ませていただいたの先鋒。チームの流れを作る大事なポジションでした。後ろには大先輩の方々がいてくださったので安心して思い切った試合ができ、自分の剣道ができました。結果は負けてしまいましたが、とても良い経験になったと思っています。

今まで私を指導してくださった先生方や、いろんな面で支えてくれた家族、仲間感謝の気持ちでいっぱいです。追われる立場の来年の方が私にとって厳しい戦いになるかもしれませんが来年もまたこの大きな舞台に立てるように日々精進していきます。

試合結果 福井1-2岩手  
鈴木 メー 阿部  
伊藤 ーメ 藤澤  
山田 ー 青柳  
高嶋 ー 千葉

13県民スポーツ祭 剣道競技 「高等学校の部」

平成二十五年八月三日(土) 於 福井県立武道館

- 男子団体の部
  - 優勝 敦賀高等学校A
  - 準優勝 藤島高等学校A
  - 第三位 啓新高等学校A・美方高等学校
- 女子団体の部
  - 優勝 北陸高等学校A
  - 準優勝 福井工業大学付属福井高等学校A
  - 第三位 羽水高等学校・美方高等学校
- 男子優秀選手 藤島高等学校 軽部 和貴
- 女子優秀選手 羽水高等学校 宮澤 由依

13県民スポーツ祭 剣道競技 「市町対抗の部」

平成二十五年八月四日(日) 於 福井県立武道館

- 成年男子の部
  - 優勝 敦賀市A
  - 準優勝 鯖江市A
  - 第三位 越前市A・福井市A
- 成年女子の部
  - 優勝 坂井市A
  - 準優勝 南越前町B
  - 第三位 敦賀市A・越前市A

壮年男子の部

- 優勝 敦賀市A (3年連続)
- 準優勝 越前市A
- 第三位 福井市A・坂井市A
- 壮年女子の部
  - 優勝 福井市A (4年連続)
  - 準優勝 坂井市
  - 第三位 鯖江市

第55回全国教職員剣道大会

平成二十五年八月十二日 於 和歌山県ビッグホール



- 大将・西川 選手が優秀選手に選出される活躍で団体ベスト8、個人女子の部でも山田選手がベスト8進出
- 個人戦女子の部
  - ベスト8 山田 聖子(福井高校)
  - 一回戦メー 山田 聖子(福井高校)
  - 一回戦メー 山田 聖子(福井高校)
  - 二回戦コー 山田 聖子(福井高校)
  - 三回戦ドー 山田 聖子(福井高校)
  - 四回戦 山田 聖子(福井高校)
- 高・大・教委の部

宮本 徹也(福井県立武道館)

- 一回戦コメ三沢憲之介(北海道)
- 幼・義務教育の部
  - 三井 清喜(丸岡南中学校)
  - 一回戦メードコ大林 良太(香川)

団体戦 ベスト8

- 久保田広行(丹南高校)
- 西川 航平(中央中学校)
- 澤田 泰治(中央中学校)
- 岡田 要(丸岡高校)
- 西川 讓(足羽高校)
- 一回戦 不戦勝
- 二回戦 福井 ー 兵庫
- 先鋒 久保田メー ー 宮崎
- 次鋒 西川航コ ー メド八木
- 中堅 澤田メ ー メメ秋山
- 副将 岡田 ー ー 高村
- 大将 西川讓メメ ー 秋田
- 先鋒 久保田コ ー 山崎
- 次鋒 西川航 ー ー 金森
- 中堅 澤田 ー ー 鷺谷
- 副将 岡田 ー ー 湯澤
- 大将 西川讓メコ ー 後藤
- 四回戦 福井 ー 熊本
- 先鋒 久保田 ー ー 菅
- 次鋒 西川航 ー ー 芹川
- 中堅 澤田 ー ー 安方
- 副将 岡田 ー ー 植田
- 大将 西川讓 ー ー 今村

第60回全国高等学校剣道大会

平成二十五年八月六〜九日

男子団体予選リーグ 於 佐賀県

北陸V S 佐野日本大学(栃木)

室谷 手塚

八田 東海林

堀江 〇メ鳥羽

祐安 〇メ西野

西野 入江

北陸V S 広島皆実(広島)

室谷 〇メ大下

八田 〇メ松田

堀江 〇メ矢山

祐安 〇メ木原

西野 〇メ寺尾

女子団体予選リーグ

北陸V S 大分鶴崎(大分)

加藤 小松

黒川 〇メ廣石

高嶋 〇メ小西

内山 〇メ佐藤

藤本 〇メ河村

北陸V S 福岡(岩手)

加藤 阿部

黒川 〇メ工藤

高嶋 〇メ佐藤

内山 〇メ泉山

藤本 〇メ中野

0勝2敗予選敗退

1勝1敗予選敗退

男子個人

佐々木尚紀(福井)

〇一回戦 〇メ 矢山(広島皆実・広島)

竹内友哉(啓新)

〇一回戦 〇メ 野依(桜ヶ丘・愛知)

女子個人

小堀理絵(美方)

〇一回戦 〇メメ中川(作新学院・栃木)

鈴木香菜子(敦賀)

〇一回戦 〇メ 野田(龍谷・佐賀)

〇二回戦 〇メ 船見(皇學館・三重)

〇三回戦 〇メ 有木(須磨学園・兵庫)

第68回 国民体育大会

平成二十五年九月三十日(月)

於 東京武道館

出場選手と試合結果は次の通りです。

中村好伸(福井刑務所)

瀬尾祐輝(福井県警機動隊)

畑祐一郎(福井テレビ)

堤腰一昭(株)アイビックス

西川 讓(足羽高校)

〇一回戦 不戦勝

〇二回戦 福井2-3 滋賀

先鋒 中村 〇メメ藤田

次鋒 瀬尾 〇メ 中野

中堅 畑 〇メ 竹中

副将 堤腰 〇メ 渡邊

大将 西川 〇メ 安田

第42回福井県少年少女剣道錬成武生大会

平成25年8月25日(日) 於 越前市体育館

男子個人試合成績表

	優 勝	次 勝	三 位	三 位
4年生以下 A	大和 泰雅 養正館	小林 大芽 栗野剣教	崎元 蓮太 みはま少剣ク	高津 悠輔 森田少剣教
4年生以下 B	奥村 龍也 向笠剣少	刀根 徹平 養正館	山本 童夢 国高剣少	水野颯太郎 鯖江剣少
4年生以下 C	田中 涼平 敦賀剣少	岩崎 吏玖 越前少剣ク	金森 貴陽 福井少剣ク	森下 壮志 豊神館
4年生以下 D	塚田 悠 志士樹館	山本 柁稀 敦賀剣少	植村 啓吾 木田剣少	箕 佑哉 きらやま剣教
5年生 A	中村 俊貴 吉川ス少剣	山本 空羽 越前少剣ク	黒川 暉瑛 武道学園剣教	八田 智貴 志士樹館
5年生 B	河原 康太 向笠剣少	宇都宮 穂 敦賀剣少	坪内 大河 養正館	三原 碧月 織田剣少
5年生 C	酒井 涼駄 森田少剣教	高桑 駿人 丸岡剣少	野村 礼翼 今庄剣少	熊田慎太郎 志士樹館
6年生 A	西村 健 向笠剣少	吉羽 顕功 国高剣教	山本 宗希 志士樹館	近藤 翔哉 木田剣少
6年生 B	石川 颯人 志士樹館	浅妻 智樹 みはま少剣ク	一圓 拓希 木田剣少	後藤 優介 養正館

優 次 三 三

勝 勝 位 位

鯖江志士樹館道場  
木田剣道スポーツ少年団  
福井養成館  
松岡少年剣道教室



女子個人試合成績表

4年生以下 A	安野 有香 福井東部少教	前田 凜 武道学園剣教	下 桐子 丸岡剣少	大島 光結 春江少剣教
4年生以下 B	田中 千晴 勝山剣教	大味奈夕夏 春江少剣教	梅原 陽乃 神山剣少	木村真理子 今庄剣少
5年生	内藤 桃菜 松岡少剣教	宮本 遥香 福井東部少教	小谷 咲恵 福井東部少教	遊津 可菜 養正館
6年生	肴倉 菜摘 志士樹館	水嶋こころ 志士樹館	橋本 聖樺 朝日少剣	



### 全剣道指導法講習会

平成二十五年十月六日(日)

於 福井県立武道館

富山の範士八段山本重美先生を講師に迎え指導法講習会が開催されました。剣道の正しい普及と振興、指導者としての指導技能を身につけ、「剣道の理念」に基いた高い水準の剣道をめざす目的のもと県下各地区剣道連盟会員、学校体育、スポーツ少年団、道場における関係指導者が50名以上参加しました。

剣道指導法では、山本先生持参の資料をもとに日本剣道形等を講義と実演を繰り返しながら指導法を教わりました。「素直な心、謙虚な気持ちをもって実行することが大事である。」という先生のお言葉が講習に参加して特に印象に残りました。意識が変化していくと剣道も向上していくというところでした。この講習会が有意義なものになるよう、今回の講習会参加者の皆様は、より



高い水準の剣道をめざして今後の指導に役立つように努力精進をしていますが、ただけたらと思います。  
(事業部会 徳本)

### 第61回福井県剣道大会

「第六十一回福井県剣道大会」は、九月二十三日に一般男女の部、九月二十八日に中学生の部が、県立武道館において開催されました。

一般男女の部には、男子三千五チーム、女子十九チーム 計二三二人が参加、中学生の部には、参加校二十



一般男女の部



中学生の部



九校 男子四十六チーム、女子二十九チーム 計三四九人が参加し、熱戦を繰り広げました。

また、二十三日の開会式では、福井県剣道連盟の発展に功績のあった四名の個人に功労賞が、全国大会・ブロック大会において優秀な成績を収めた個人、団体に優秀選手賞が贈られました。

### 【功労賞】

河辺音一郎 (敦賀市剣道連盟)  
山田 昭榮 (越前市剣道連盟)

和田 保男 (南条地区剣道連盟)  
堀井 信吾 (福井地区剣道連盟)

### 【優秀選手賞】



(第67回国民体育大会  
成年女子の部 第四位)

道内 由佳里  
高嶋 寿美  
山田 聖子  
(第54回北信越学生優勝剣道大会  
男子団体の部 優勝)

富田 成慈

高垣紳二郎  
梶村 真基  
岡田 佑介  
大矢 翔平  
辻内 勇介  
上川 智之  
岡野 貴裕

(第55回北信越学生優勝剣道大会  
女子団体の部 優勝)

久川 葉月  
石井 里奈  
川合明日香  
北川 藍  
栗林 由香  
河野 真由  
吉野 茉希

(第34回北信越国民体育大会  
成年女子の部 準優勝)

森 宜子  
山田 聖子  
細川 梨絵

(第55回北信越学生優勝剣道大会  
男子個人の部 準優勝)

谷川 琢人

**試合結果**

○中学校男子の部

優 勝 鯖江中学校A(鯖江市)  
第二位 中央中学校A(鯖江市)  
第三位 明道中学校A(福井市)

○中学校女子の部

優 勝 中央中学校A(鯖江市)

**第8回全日本都道府県対抗  
少年剣道優勝大会**

(小学生の部)

平成二十五年九月十五日(日)

於 大阪市舞洲アリーナ  
去る本年九月十五日(日)大阪市舞洲アリーナにおいて、第八回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会が開催され、本県から「小学生の部」及び「中学生の部」が出場しました。

「小学生の部」においては、本年七月二十日(土) 県立武道館において、第三次福井県選抜選手選考会が開催され、田崎健斗(福井養正館)、保花倭(同)、中村龍之介(鯖江志士樹館道場)、水野敬太(同)、中村翔太郎(同)の各選手が本大会に出場することとなりました。

本大会に向けての目標は、選手の技能を全国レベルまで向上させ、精神力の強化を図ることでした。その

ためには、一回でも多く、優秀チームと試合稽古の出来る環境作りを行うことでした。最初に、強靱な体力づくりから始まり、富山県遠征、静岡県遠征など、短期間の中で約二十回にもおよぶ稽古会を重ねてきました。弱音を吐く選手もなく、選手一人ひとりがお互いを励まし合う光景も見られ、チームが一丸となり、高



い目標を目指すチームが出来たと思います。その結果、本大会において、祈願のベスト十六へ進出することが出来ました。これもひとえに、堤腰一昭先生、塚田直人先生方のご指導の賜物であり、また、選手を支えていただいた関係者の皆様方のご尽力によるものと深く感謝申し上げます。次

です。

試合結果については、次のとおりです。

(船田久三郎)

予選リーグ	福井	3	1	鳥取
先	中村龍	コ	コ	小谷
次	中村翔	コ		若木
中	保花	メ		片桐
副	水野	メ	メ	小谷
大	田崎	メ		板見
先	福井	2	1	北海道
次	中村龍		メ	小村
中	中村翔	メ		木村
副	保花	メ		石川
大	水野	メ		佐藤
副	田崎			松山
決勝リーグ				
先	福井	0	4	和歌山
次	中村龍		メ	新谷
中	中村翔		メ	太田
副	保花		メ	小田
大	水野		メ	唐津
副	田崎		メ	岩間

(中学生の部)

平成二十五年九月十五日(日)

於 大阪市舞洲アリーナ

平成二十五年九月十五日(日)に、大阪市舞洲アリーナにて、第八回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会が行われました。

本年度の福井県中学生選抜チームには、次の五名が選ばれました。先鋒は、スピードと勢いのある剣道が魅力の二本松咲季選手(三方中学校)。次鋒は、豪快な面技を得意とする山崎愛華選手(明倫中学校)。中堅は、多様な技に優れ、バランスのある吉岡竜星選手(藤島中学校)。副将は、粘り強い勝負が持ち味の刀称隼人選手(成和中学校)。そして大將は、昨年度も選抜チームの一員として活躍した馬淵稜也選手(松陵中学校)。福井県を代表する素晴らしい選手が集結しました。

昨年は、強豪宮崎県相手に見事勝利したものの、惜しくも予選リーグで敗退となりました。今年は、その時の悔しさを知る馬淵選手がチームのキャプテンとなり、夏季県大会終了から約二ヶ月間、県内各地での稽古会や高校生との練習試合を通して、技術・精神面ともに充実させてきました。チームが集まれないときにも、個々がランニングや素振りなどの努力を重ね、この大会を迎えました。

試合前日には、新潟県や長崎県をはじめとする強豪チームと練習試合をさせていただくことができました。初戦こそなかなか技に気持ちに乗せることができずでしたが、小辻監督やコーチ陣の叱咤激励もあり、徐々にチームとしての戦い方ができるようになってきました。なんと少しでもこのメンバーで予選リーグを勝ち上がりたいという思いが、選手一人ひとりの中で高まっているのを感じました。

そして迎えた大会当日。第一試合は鳥取県との対戦でした。先鋒・二本松選手は、気持ちが高ぶっていたものの、少し焦って出たところを飛ばす面を決められ、二本負けとなりました。苦しい立ち上がりとなりましたが、次鋒・山崎選手が相手をよく見て、持ち味の飛び込み面一本勝ちを収めます。続く中堅・吉岡選手は、最初に相面を決められたものの、得意の引き面を二本決めて逆転勝ちを収め、良い流れで副将につなぎました。刀称選手は落ち着いた試合運びでしたが、少し守りに入ったところを一瞬の隙を突かれ、面を奪われてしまいました。一本取らなければチームの負けという状況で、大將・馬淵選手の出番となりましたが、立ち上

がりから「絶対に二本勝ちを収める」という強い思いが伝わってくる強気の攻めで、見事な面を決めました。最後は冷静に相手を誘い出して出小手を決め、見事、福井県チームの勝利となりました。

第二試合は、福島県との対戦です。引き分けでも福井県が予選リーグを突破できるという状況でしたが、相手は力のあるチーム、最後まで一瞬たりとも気を抜かない緊迫した接戦が続きました。先鋒・二本松選手は、終始相手をリードする攻めを見せ、素晴らしい試合を展開しました。惜しい技がたくさんありましたが、残念ながらそのまま引き分けとなりました。次鋒の相手は試合巧者で、山崎選手がこぞのタイミングで飛んだ面をうまくすりあげ、面を決められてしまいました。山崎選手も取り返すべく積極的に技を出しましたが、同じようにうまく裁かれて面を決められ、二本負けとなりました。中堅・吉岡選手、副将・刀称選手共に、あと少しで一本という技がありました。惜しくも旗が上がりませんでした。馬淵選手は最後まであきらめず、勇猛果敢に攻め続けましたが、相手も簡単に打たせてくれず、時間切れとなりました。試合後の、悔しさを抑えきれない選手たちの表情と涙が、非常に印象的

でした。しかしながら、全員が一丸となつて決勝トーナメント進出を目指したことで、全国の強豪選手とも堂々と渡りあえたことは、選手たちにとって大きな糧、そして自信として今後の剣道人生に活きるだろうという確信も持つことができました。全国での紙一重の差を埋めるべく、これからも中体連の指導者が「チーム福井」として一丸となつて強化に取り組みたいと思います。最後になりましたが、福井県剣道連盟をはじめ、多くの皆様にご支援をいただいたことに、心から御礼申し上げます。ありがとうございました。(長澤いづみ)

一試合目

福井県	5 / 3	4 / 2	鳥取県
先鋒	二本松	—	メメ為計田
次鋒	山崎	メ	今井
中堅	吉岡	メメ	—
副将	刀称	—	メ 初鹿野
大將	馬淵	メコ	—
			山本

二試合目

福井県	0 / 0	2 / 1	福島県
先鋒	二本松	—	小坂
次鋒	山崎	—	メメ倉島
中堅	吉岡	—	坂本
副将	刀称	—	三戸
大將	馬淵	—	佐藤

### 居合道伝達講習会

平成二十五年九月二十九日(日)  
於 県立武道館 多種目競技場  
講師 第40回居合道中央講習会受講者  
玉村伸治 教士七段  
西出和男 五段

受講者 松本敏夫ほか9名

- ① 中央講習会での河口居合道委員長の言葉より……9：00～9：10
- ② 実技解説と演武 講師2名 ……9：10～13：40

受講者同士2名  
コンビによる相互チェック稽古  
(昼食休憩40分)

- ③ 1～12本目 集団演武 半数づつ2回実施 ……13：40～14：00
- ④ 審判講習 講義……14：05～14：30

模擬試合により審判実技 ……14：30～15：30

受講者は、決して多くはありませんでしたが、日頃の稽古の中で感じた疑問を解消すべく、熱心に取り組んでいました。1本目から12本目まで2本づつ区切って、解説と模範演武の後、二人一組になって、交互に技を抜きながら、相互にチェックしあう稽古から始まりました。中央講習会で重点的に指導された事項・教本の着眼点を中心に各自の技が適正かどうか指摘しあい、正しい技の習

得に励みました。今回の講習会だけでは体がいうことを聞かず、今後の稽古のポイントを各自が発見していました。

審判講習では、主審が行う宣告の発声や審判旗の扱い方、出場・退場・交替の動き方などを復習しました。

今回の中央講習会では、選手が負傷した場合の主審の宣告と処置について説明がありましたので、宣告の言い方と旗の表示法、時間の計測方法を詳しく伝達しました。

二人の選手を立てた模擬試合を行う中で、審判の実技を研修した後、質疑応答の時間を設け、伝達講習を修了しました。



### 小浜市民剣道大会・錬成会

平成二十五年八月十八日(日)  
於 小浜市民体育館  
今年で五年目を迎える、小浜市民剣道大会・錬成会が小浜市民体育館において開催されました。

この錬成会は、講習会も兼ねており、県内外から先生方を特別講師としてお招きし、剣道の基本錬成をご指導頂くと共に、指導者の育成と審判技能の向上を期待して審判法・指導法の講習会を実施しました。今回特別講師として、教士七段 奥井俊雄先生・中西泰平先生(福井県)を講師としてお迎えし、県内外の小・中・高校生その他、一般剣士も含め約130名の講習生が参加し錬成会は盛大に行われました。講習内容は、剣道

講話、基本的な礼儀作法から素振り、基本技術指導、指導法、審判法をご指導頂きました。審判実技では、的確な所作と素早い位置取り、有効打突の見極め、反則の有無等全般にわたるきめ細かな指導を頂き、指導法では、正しい姿勢と構え、肩を十分に使った素振り、中心を取ったの攻め合いと正面打ち等、大切な基本的部分の反復指導を頂きました。今後の修練と指導力向上に繋がるものと確信しました。最後に参加者全員で合同稽古を行いました。素晴らしい錬成会が盛会に開催出来ましたことを、奥井・中西両講師に感謝申し上げます。



### 第8回福井県中学校秋季新人大会

平成二十五年十月十八日(金)  
於 敦賀市中郷体育館

- 男子団体
  - 優勝 明道中学校
  - 第二位 丸岡中学校
  - 第三位 武生二中学校
- 女子団体
  - 優勝 藤島中学校
  - 第二位 松陵中学校
  - 第三位 坂井中学校
  - 第三位 三方中学校

男子個人戦(全学年の部)  
 優勝 上村 哲平(中央中学校)  
 第二位 橋本 恭佑(丸岡中学校)  
 第三位 網田 誉紀(今庄中学校)  
 京藤 尚輝(武生第一中学校)



男子個人戦(二年の部)  
 優勝 北島 正貴(鯖江中学校)  
 第二位 小嶋 耀介(鯖江中学校)  
 第三位 川崎 叶也(鯖江中学校)  
 八幡桂志朗(藤島中学校)



女子個人戦(全学年の部)  
 優勝 加藤菜摘子(中央中学校)  
 第二位 堤腰 琴菜(松陵中学校)  
 第三位 山川 咲愛(松陵中学校)  
 池田二千花(三方中学校)

女子個人戦(二年の部)  
 優勝 田辺 有羽(三方中学校)  
 第二位 久保 渚(三方中学校)  
 第三位 貢 歩枝奈(今庄中学校)  
 吉田 花生(中央中学校)



### 第48回全日本居合道大会 (都道府県対抗優勝大会)

平成二十五年十月十二日(土)  
 於 べつぷアリーナ(別府市体育館)

監督 福島一郎(五段・丹生地区)  
 五段の部 酒田雅人(五段・越前地区)  
 六段の部 角 裕幸(五段・越前地区)  
 七段の部 玉村伸治(七段・越前地区)

大会前日、JRにて別府駅まで約6時間、到着後直ちに市内の会場へ入り、稽古と監督会議に臨みました。大会本部委員の説明、47都道府県の監督からの質疑応答等々、緊張した中にもこの大会の成功を願う熱意が大いに感じられました。

大会当日は天気にも恵まれ、試合会場のべつぷアリーナ体育館へはタクシーで約10分ほどと近く、館内の試合場も十分なスペースがあり、運営も円滑に行なわれ時間どおりに進行しました。因みにスタッフは居合関係者120名とのことで、大いに感心しました。

大会は主催者の挨拶に始まり、居合道高段者の居並ぶ役員席を前にして、凛とした緊張感がみなぎり全国大会ならではの経験を踏むことができました。

試合については本県は五段の部・酒田選手、六段の部・角選手、七段の部・玉村選手がそれぞれ出場し、

玉村選手が1対2と善戦健闘しましたが、残念ながら力及ばず三者とも初戦敗退という結果でした。

また第二部として個人演武があり、五段から範士八段までの約300名の剣士が会場し、全国大会にふさわしい裂帛の模範演武を鑑賞することが出来ました。

総括として、わが福井県居合道の今後の発展のためには、我々の稽古は勿論ですが、底辺の拡充・愛好者の掘り起こし・指導者の招聘等々、道は遠く厳しいと思いますが、一歩一歩の確実な日々の努力が必要であると痛感しました。

文責 福島一郎

### 「宮本武蔵顕彰女子剣道大会」 に出席して

平成二十五年十月二十日(日)  
 於 岡山市美作市 武蔵武道館

丸岡剣道連盟 橋本 一美  
 平成二十五年十月二十日、岡山市美作市 武蔵武道館にて、「宮本武蔵顕彰女子剣道大会・お通杯」が開

催され、福井県代表として出場しました。私自身、県外大会出場が久しぶりで嬉しくもありましたが、100歳以下(3人の合計年齢)の部の大将ということでプレッシャーもありました。

大会前の一か月は、週に一度選手



が集まって、先生方との稽古・お互いの稽古をすることができました。自分のにはしつかり稽古しなくてはいけないと思う反面、なかなか思うような稽古ができず、この状態で大会に出場してもよいのか考えてしまい、不安が募る一方でした。でも、同じチームの二人が頑張っている姿を見たり、先輩方の励ましもあり、自分のやれることをしようと前向きに思えるようになりました。

大会当日、開会式の選手宣誓の中で、「家事・仕事・育児をしながら、時間を作り稽古しています。」という言葉を聞いて、「みんな同じなんだ。」という思いと辛かったことを思い出し、涙してしまいました。試合は、先鋒・中堅の頑張りで一勝でき、ほかの福井県チームも素晴らしい試合展開で応援に力が入りました。出場選手には、実業団で活躍されている方・警察官・世界選手権に出場されている方など、試合内容に感心することばかり。そしてレベルの高さに驚きました。これからは、攻めて粘って一本取りにいく稽古をしたいと思います。

最後になりましたが、大会出場にあたりお世話になった先生方・先輩方・チームメイト、そして岡山に行かせてくれた家族に感謝し、来年も出場できるように稽古します。あり

がとうございました。

福井県 4チーム出場

(100歳以下の部)

田中智子・鹿本生佳・橋本一美

二回戦敗退

(101以上の部)

安原真紀・新井洋子・遠山証子

三回戦敗退

植原陽子・島田奈美江・江指恵

一回戦敗退

高原理江子・岡田恵子・小寺みゆき

二回戦敗退

個人戦 50歳代の部

小寺みゆき ベスト8

### 平成二十五年福井県実業団柔道・剣道大会

平成二十五年十一月三日(日)

於 福井県立武道館

十一月三日(日)に福井県立武道館で開催されました「平成二十五年

度福井県実業団柔道・剣道大会」剣道の試合結果は次のとおりです。

十七社 二十三チーム 約一〇〇名が参加し、熱戦を繰り広げました。

#### ○団体の部

(Aブロック(五人制))

優勝 (株)アイビックス

第二位 関西電力株原子力事業本部

第三位 福井大学附属病院A

(Bブロック(三人制))

優勝 (株)平成ポンプクリート

第二位 Pure

第三位 白崎技研工業



#### ○個人の部

(男子三段以上の部)

優勝 小堀 将年

(株)アイビックス

第二位 元井 健伍

(株)平成ポンプクリート

第三位 北田 幸敬

(株)平成ポンプクリート

(男子二段以下の部)

優勝 永井 隆

(福井大学附属病院)

第二位 山本 裕貴

第三位 西坂 友希

(株)アイビックス (堀田商店)



#### (女子の部)

優勝 金子 彩夏

(株)アイビックス

第二位 谷口 典子

(信越化学工業(株))

第三位 新井 洋子 (田中精機(有))



### 第44回 嶺南剣道大会

平成25年11月3日(祝)  
於 小浜市体育館

#### 第44回嶺南剣道大会入賞チーム

	優勝	準優勝	第三位	第三位
小学生男子	福井養正館	敦賀市 スポーツ少年団A	向笠剣道 スポーツ少年団	西部剣道教室
小学生女子	向笠剣道 スポーツ少年団	西部剣道教室A	敦賀市 スポーツ少年団	
中学生男子	気比中学校A	松陵中学校	三方中学校	小浜中学校
中学生女子	松陵中学校	三方中学校	栗野・気比中学校	
高校生男子	敦賀気比高校	若狭高校		
高校生女子	敦賀気比高校A	敦賀気比高校B		
一般男子	敦賀地区A	三方地区A	三方地区C	
一般女子	敦賀地区B	敦賀地区A	三方地区	
壮年	敦賀地区A	若狭地区A	敦賀地区B	若狭地区B



	優勝	準優勝	第三位
小学生 団体の部	せた魂剣道部A (滋賀県)	鯖江志士樹館道場A (福井県)	せた魂剣道部B (滋賀県)
中学生 男子団体	枚方剣道協会 菅原支部A (大阪府)	福井養正館 (福井県)	悠紀剣良会B (滋賀県)
中学生 女子団体	滋賀八幡西清流館 (滋賀県)	せた魂剣道部 (滋賀県)	愛知川剣心会 (滋賀県)

**第10回小浜ライオンズ杯剣道大会  
小浜少年剣道教室創立40周年記念大会**

平成二十五年十月二十七日(日)

於 小浜市民体育館  
主催 小浜市剣道連盟

今年で10回の節目となるこの大会、  
年々盛大になってきており、県内を  
はじめ、滋賀県、京都府、岐阜県、  
兵庫県、大阪府から小・中学生剣士  
が集い、年に一度の交流大会が行わ  
れました。小学生団体70チーム、3  
50名、中学生団体56チーム、24  
0名、計590名の選手が参加、白  
熱した戦いを繰り広げました。福井  
県内チームも健闘し、小学生の部で



は、鯖江志士樹館道場が準優勝、中  
学生男子の部でも、福井養正館が準  
優勝に輝きました。  
(小浜市剣道連盟事務局長 新谷勝利記)

平成二十五年度 福井県高等学校剣道新人大会

平成二十五年十一月十六〜十八日  
於 福井県立武道館

- 男子団体の部
- 優勝 高志高校
  - 二位 藤島高校
  - 三位 福井高校
  - 三位 北陸高校

- 女子団体の部
- 優勝 北陸高校
  - 二位 美方高校
  - 三位 敦賀高校
  - 三位 福井高校



- 男子個人の部
- 優勝 増永 大夢 (高志高校)
  - 二位 馬淵 貴大 (敦賀高校)
  - 三位 中田 隆翔 (藤島高校)
  - 三位 中村 匡佑 (美方高校)

- 女子個人の部
- 優勝 井上 瑞菜 (美方高校)
  - 二位 内山田 楓 (北陸高校)
  - 三位 宮浦 千明 (啓新高校)
  - 三位 飯塚 麻貴 (福井高校)



全日本女子選手権大会に

出場して

平成二十五年九月八日(日)  
於 兵庫県立武道館

福井工大付属福井高校教諭 山田 聖子  
今回七回目の全日本女子選手権大会に出場させて頂きました。結果は一回戦敗退という残念な結果で終わってしまいました。さらに、一本取られたところは毎年打たれているところと同じような場面で取られてしまい、進歩のない無様な試合内容となりとても情けなく思いました。

特に今回は、国体と一緒に出場させて頂いた森先生に、試合までほぼ毎日のように稽古をつけて頂きました。基本、地稽古、追い込み、掛かり稽古とすべて一緒にやっていただけ、悪いところがあれば指導をして頂いて、気持ちが入っていないければ追い込みをして気合いを入れてもらい、そして励ましてもらい。と信頼できる先生、また共に戦う仲間ができたようで感謝の気持ちでいっぱいでした。

当日は応援にも来て頂き、初めての今回、私一人で戦っているのではないのだなと感じさせられた全日本でした。だからこそ今回は上位を目指したかったのですが、こういう形で終わってしまったことが悔しくて

なりません。

しかし今年の全日本の試合は終わってしまいましたが、私が目標にしなければならぬのは五年後の福井国体です。今回のことで大勢の人が一つになり戦うということは壮大な力になるということを感じました。なので、五年後までに福井県の女性剣士が一丸となり、全員で勝利を勝ち取るように、私自身、競技力、精神力の向上を目指して頑張つて稽古に励みたいと思いますので、これからもご指導ご鞭撻の方よろしくお願い致します。

平成25年度全国剣道指導者研修会に参加して

平成二十五年十月十九・二十日  
於 新潟県上越市

氣比中学校教諭 青木 毅志  
昨年度、私は剣道の授業で学体研の発表をし、武道の必修化に伴い、どのような指導を目指していくべきなのかを考える機会をいただいた。その中で、剣道が専門外である私が剣道の持つ特性や、生徒が一生懸命に取り組む姿勢からその面白さを感じることができた。

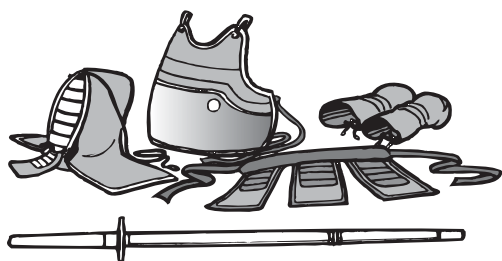
そして今回の研修会の話の頂き、より良い剣道の授業をしていきたいと考えていた私は参加させていたただくことにした。



研修会では、多くの講師の方々に教えていただいたのだが、何より感銘を受けたのは、何十年間と剣道に打ち込んでおられると思われる先生方が、中学校から初めて剣道を始める生徒の目線に立ち、指導法を考えておられることであった。日本の伝統文化という少し堅いイメージを持つていた私であったが、講師の先生方が剣道を親しみやすく柔軟に指導して下さったことが大変勉強になった。

いただいたことを授業の中に組み込んでいきたいと感じた。また、素振り・礼法などの基本的なことから攻防の展開や試合の審判法の工夫まで一つ一つが専門外の私にとっては興味深いものであった。

今回の研修で一番心に残ったことは、ある講師の先生が「サツカーではシュートを決めた時が嬉しいように、剣道は一本決めた時が一番嬉しい。生徒がその楽しさを味わえるような授業をつくって欲しい。」といわれたことであり、私自身もそういう授業を目指していきたいと、今回の研修を通して剣道授業の指針をつくることできた。



このような事業は、専門委員会の委員と執行部で原案を練り、委員会を中心に計画を実施します。この大会は「市民大会・市民剣道祭担当」の委員が受け持っています。

現在当連盟には、事業ごとに七つの委員会が組織され、事務局と協力して事業を進めています。ちなみに七つの委員会は次の通りです。

試合は中学生全学年男・女、小学生四年生以上全学年の男・女の四ブロックに分けての個人トーナメント方式で、学年の区分を取り払った個人戦です。

### 越前市剣道連盟

当連盟も本年創立六十周年を迎え、十一月二十四日に記念事業を行うことと、準備を進めています。例年十一月には市民剣道祭を実施していたが、今年には記念大会で小中学生の個人試合を計画しています。大会は開会式の後、日本剣道形と全日本剣道連盟居合の演武で幕を開けます。最近小中学生が剣道形を稽古したり見学する機会が少なくなり、その意味でも多くの生徒・児童に見学してもらいたいと考えています。

## みんなの広場

### 剣道部・クラブ紹介

- ・市民大会・市民剣道祭担当
- ・指導強化・選手選考担当
- ・居合道担当
- ・新春行事・試し斬り大会担当
- ・県少年少女剣道錬成武生大会担当
- ・級位審査会担当
- ・少年育成担当



木刀による基本技稽古法講習



新春奉納試し斬り

二十四年度からは武道館のより一層の活用を図り、会員の活動活性化の為、毎月の第一土曜日に、「大稽古会」と銘打って、一人でも多くの会員に稽古に参加してもらえよう声を掛け合っています。最近小学生の参加も増えてきたので、大人が集まってくる時間より前の時間を設定して、森岡裕一先生が中心になって「レベルアップ剣道教室」を開いています。ここでは、各スポーツ少年団から、希望者が一堂に会して基本稽古に励んでいます。

十二月には毎年級位審査会が開催され、その前の週には木刀による剣道基本技稽古法講習会が持たれています。いずれも級位審査会担当が進めています。

十二月にはまた、少年少女交流稽古会があり、合同稽古とスポーツ少年団対抗団体戦を行います。これは少年育成担当委員会の事業です。

間もなく新年を迎える時期になり、新春行事担当の委員も準備に入るところです。試し斬りの巻き藁の手配、剣道形と居合道の演武者の選出などです。

このように各委員会が分担して年間計画された事業を推し進めている状況です。

文 事務局 玉村伸治

### 大野市剣道教室



大野市剣道教室は市剣道連盟を母体とし、50年余りの伝統があります。

活動は週2回の稽古日に加え、月1回の市県連主催の合同稽古会に参加して、稽古に励んでいます。子どもたちには日ごろから大きな声で挨拶ができるよう指導しています。年間行事としては、新年の寒稽古から始まり、地区の大会を3回行っています。また、「木刀による剣道基本技稽古法」にも取り組んでおり、夏の奥越剣道大会では、子どもたち全員で演武を行いました。これからも、底辺の拡大に微力ではありますが頑張っていきたいと思えます。

活動場所 大野市総合体育施設エキ

活動日時 サイト広場剣道場  
毎週火・金曜日  
午後7時から8時30分

指導者 福野 平吉 金森三喜夫  
佐々木浩二 佐々木広美  
鳥山 武俊

### 松陵中学校剣道部

私たち松陵中学校剣道部は、「自信・勇気・笑顔」をモットーに「剣道即生活 生活即剣道」を合い言葉に、日々稽古に励んでいます。最終目標は、剣道を通じての人間形成ですが、試合においては全国中学校剣道大会で上位入賞を目指しています。そのためには、男女とも「尊敬されるチーム」になることが今一番大切



なことだと思っています。

本年は、男子が29年ぶりに県夏季大会で優勝して全国大会団体・個人出場を果たしました。女子も決勝戦では敗れましたが団体準優勝という結果を残すことができ、初の北信越大会へ出場しました。また、県新人大会においても女子が準優勝という成績でした。

普段の稽古内容は、素振り・切り返し・打ち込み・掛かり稽古を中心に決して甘くはありませんが、中村英紀先生・小辻淳二先生のご指導を受け、目標実現のために部員全員で取り組んでいます。また、いつも温かく見守ってくれている保護者会の皆様、稽古をつけて頂いている敦賀市剣道連盟や各道場の先生方、応援してくれている学校の先生方、そして遠征等で練習試合をして頂いている剣道仲間感謝の気持ちを忘れることなく、当たり前なことを当たり前にして感動を追い求めていきたいと思っています。

#### ○部員数

- 男子3年生 8名
- 2年生 4名
- 1年生 2名
- 計 14名
- 女子3年生 3名
- 2年生 3名
- 1年生 5名

計11名

合計25名

○活動時間

平日 16時30分～18時15分  
休日 9時～12時

または 遠征・練習試合等

○活動場所

本校体育館・市立体育館・敦賀高校体育館

(男子主将 刀根航介・

女子主将 梅野葉月)

中央中学校剣道部

こんにちは。中央中学校剣道部です。

本校は、生徒1000人を超える中学校です。「赤土の子」「正しく、強く、美しく」を校訓に教育活動を行っています。春には、「三六の桜」がきれいに咲いて多くの生徒を見守ってくれています。

現在剣道部には、男子8名、女子9名(1・2年生)が所属しています。

目標は、全中入賞!!それを目標に毎日午後4時から稽古に励んでいます。

今年は、夏の予選で惜しくも男女ともに団体3位、あと一步のところまで全中への切符を逃してしまいました。団体戦での全中出場は、和田保男先生が監督として率いて出場して



以来していません。来年こそは、部員が一つとなり男女アベックで全中出場を果たすために頑張ります。

中央中剣道部の特徴は、加藤昌広先生(現鯖江中学校剣道部顧問)が作られた「忍」の字の部旗の下での猛稽古。しかし、生徒は、どんなに辛く厳しい稽古にも、持ち前の明るさでお互いを励まし合いながら乗り越えています。初心者で始めた部員の中には、経験者に引っ張られて鯖江地区の強豪を抑えて県大会出場を果たす部員もいます。

また、剣道部では、剣道の技術だけでなく、挨拶や礼儀など人として

の成長も求めて努力していきたいと思えます。これからもご指導のほどをよろしくお願いいたします。

敦賀気比高校剣道部

敦賀気比高校は、やらされる剣道ではなく自分自身が進んでやる、そして部員全員が互いに競い合って稽古に励んでいます。父母の会の強い助けもあり、現在一・二年生二十名(男子十二名、女子八名)で限られた練習時間を精一杯、素振り・切り返し・基本稽古・かかり稽古・打



ち込み稽古、そして学校の休業日には県外遠征や合宿を行っています。文武両道を目標に、部活と勉学の両立に日々努力しております。その中で一人一人が今何をしなければいけないのかという判断力が身につけてくると思います。まわりの人達からいろんなことを学び、感謝の気持ち、思いやりの気持ち、大きな夢を持つて練習できるような剣道部であるように心掛けております。

今後とも皆様のご指導よろしくお願ひ致します。



剣道 称号段位合格者

剣道段位審査会

平成二十五年八月十一日(日)

於 敦賀市中郷体育館

〔初段〕

- 重盛友登 (鯖江中1年)
北島正貴 (鯖江中1年)
川崎叶也 (鯖江中1年)
山腰賢伸 (春江中1年)
梶山憲武 (足羽中1年)
橋本恭佑 (丸岡中1年)
北本幹貴 (明道中1年)
林凌雅 (丸岡南中1年)
上坂壮平 (鯖江中1年)
佐藤翔馬 (角鹿中1年)
坂本一晃 (丸岡中1年)
堀江新大 (鯖江中2年)
佐野嵩弥 (松岡中2年)
坪内大和 (三方中2年)
仁尾文哉 (高浜中2年)
中屋和喜 (丸岡南中2年)
上村周平 (中央中2年)
上村哲平 (中央中2年)
増永大紀 (武二中3年)
松田大剛 (今庄中3年)
岡崎正和 (武六中3年)
浅沼隼次 (小浜一中3年)
橋本貴幸 (今庄中3年)
熊谷凌一 (小浜中3年)
荒谷勇斗 (藤島中3年)

- 岡田直也 (専門1年)
要川雄紀 (藤島中3年)
山田大貴 (警察官)
上出覚士 (警察官)
有田慎司 (警察官)
児嶋泰成 (警察官)
齊藤雄大 (警察官)
森下紘行 (警察官)
鈴木雅彦 (警察官)
富田孝太郎 (警察官)
中谷孝太 (警察官)
川畑貴裕 (警察官)
渡辺将一 (警察官)
長谷川裕樹 (警察官)
坪田宗頼 (警察官)
川口和輝 (警察官)
荒矢玄太 (警察官)
小泉拓也 (警察官)
漆崎裕一 (警察官)
西浦光一 (警察官)
山口裕光 (警察官)
山友貴光 (警察官)
坂下雄太 (警察官)
前田奨太 (警察官)
西田広信 (警察官)
向出路子 (警察官)
矢田恭子 (角鹿中2年)
吉川朱莉 (藤島中2年)
松岡明日香 (高浜中2年)
島山明渚 (春江中3年)
窪田紗希 (今庄中3年)
山崎悠衣 (松岡中3年)
中村優希 (今庄中3年)

〔貳段〕

- 高橋澄果 (藤島中3年)
今野沙紀 (気比高1年)
永宮ほのか (啓新高1年)
山本英加 (仁愛高2年)
村上春奈 (武生高2年)
村上美貴 (警察官)
島崎美樹 (警察官)
松井美歩 (警察官)
吉村麻里 (警察官)
五十嵐祥子 (警察官)
藤田真由 (アルバイト)
竹田哲大 (松陵中3年)
戸島昂紀 (中央中3年)
山田雄太 (栗野中3年)
川口雄太 (武六中3年)
牧野純士 (中央中3年)
増田夏希 (中央中3年)
竹田丞希 (松陵中3年)
富士原一真 (栗野中3年)
久保田大樹 (松陵中3年)
山川健翔 (松陵中3年)
小寺正悟 (森田中3年)
高村航平 (武二中3年)
吉岡竜星 (藤島中3年)
林裕太 (武六中3年)
馬淵裕也 (松陵中3年)
平口悠也 (栗野中3年)
吉田風汰 (池田中3年)
井田有哉 (鯖江中3年)
牧野拓哉 (北陸高1年)
斉藤慎希 (丸岡高1年)

〔参段〕

- 畠山朋哉 (北陸高1年)
木下源大 (高志高2年)
松本男樹 (若狭高2年)
浅沼秀俊 (若狭東高3年)
猪坂昇平 (警察官)
山崎友輔 (専門学校1年)
山田丈之介 (警察官)
中村隆幸 (警察官)
高島誠弥 (警察官)
堀井真真 (警察官)
丹羽達啓 (警察官)
中村爽 (三国中3年)
田邊紗也佳 (春江中3年)
高村愛里 (福井高専1年)
宮浦千明 (啓新高2年)
林夏海 (啓新高2年)

〔四段〕

- 佐々木良崇 (藤島高2年)
藤井祐希 (警察官)
西村俊宏 (県立大学3年)
西村大輝 (警察官)
高木裕和 (会社員)

〔五段〕

- 奥山登 (教員)
石倉良澄 (教員)
山本哲生 (会社員)
遠山証子 (教員)

# ペンリレー 女性剣士の部屋

鯖江市 竹間 みちる

私が剣道を始めたのは、中学一年の時でした。運動部に入部を希望していた私は、部活動見学で初めて剣道を見ました。当時顧問をされていた恩師に厳しく指導されている先輩方を見て、ただただ圧倒されたのを覚えています。それと同時に、自分も先輩方のように防具をつけて剣道をやってみたい、と思いました。

中学では、基本を丁寧に教えていただきました。毎日が厳しく辛い稽古でしたが、新しい事を教えていただくのは非常に楽しく、日々の稽古の後には気持ちよい充実感・満足感を得られました。高校、短大へと進学しても剣道を続けました。そして、素晴らしい恩師、先輩、仲間にも恵まれ、私にとってかけがえのない財産となったのです。

就職してからは剣道をする機会は減り、結婚後はまったく剣道に関わっていませんでした。

しかし、小学四年の娘が剣道を習ってみたいということで再び私の生活の中で剣道に関わる時間ができました。初めは、娘や子供たちの稽古を見ていましたが、冬合宿で行われた親子対決に参加し十年ぶりに防具をつけ、剣道をしました。久々の剣道は楽しく、何よりも娘と剣を交えることができ非常に嬉しかったです。

それ以来、私は子供たちと稽古をさせていただいています。子供たちが受けている指導を見聞きしながら、私も基本に返り一緒に成長できればと思います。

娘には、剣道を通して様々なことを学び、素晴らしい人との出会いを経験しながら成長して欲しいと思います。

最後に、再び剣道を始めるきっかけをくれた娘、一緒に稽古をしてもらっている子供たち本当にありがとう！そして、稽古の場を与えてくださっている先生方に感謝申し上げます。



## 平成25年12月～平成26年3月 事業計画

期	日	曜日	事業名	場所	開催者	備考
12	1	日	剣道形講習会	越前市・若狭町	県剣連	
	1	日	居合道大阪大会	大阪市		
	7	土	全剣連剣道合同稽古会 北信越地区	富山県		
	15	日	第4回福井県少年剣道強化錬成会	県武道館	県剣連	
1	5	日	剣道・居合道初稽古	県武道館	県剣連	14:00～(半日)
	19	日	福井県剣道大会(高校生)兼高校冬季選手権大会兼全国選抜大会予選会	県武道館	県高体連	
	25	土	県中学校剣道冬季強化大会	敦賀市	県中体連	
	26	日	全国都道府県大会県選考会	県武道館	県剣連	9:00～
2	1～2	土～日	北信越高校剣道新人大会	富山県	北信越高体連	庄川体育センター
	1	土	少年剣道指導者講習会	県武道館	県剣連	
	2	日	第8回福井県ジュニア育成強化剣道大会	県武道館	県剣連	9:00～
	9	日	世界一剣道教室	県武道館	県剣連	9:00～
	11	火(祝日)	剣道段位審査会	越前市・若狭町	県剣連	
	23	日	国体指定選手選考会	県武道館	県剣連	
3	23	日	居合道合同稽古会	越前市	県剣連	
	16	日	理事会	県武道館	県剣連	
	23	日	評議員会	県武道館	県剣連	
	23	日	第6回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会県予選会・合同稽古会	県武道館	県剣連	
	27～28	木～金	第23回全国高校剣道選抜大会	春日井市	全剣連	
28～30	金～日	第36回全国スポーツ少年団剣道交流大会	金沢市	全剣連		

【福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください】

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2-3-7 (株)マルツ電波二の宮店 付属舎  
 メールアドレス [fkikendo@herb.ocn.ne.jp](mailto:fkikendo@herb.ocn.ne.jp) TEL (0776)28-6616